



図書館だより 2019 1月

能勢高等学校 図書館
豊中高校能勢分校図書館

明けまして おめでとうございます。

新しい本、入りました。



【コミック】



ちはやぶる 40巻 末次由紀著 講談社
激戦を経て、ついにクイーン戦への切符を手にした千早。孤高の才能をもつ詩暢の立つ場所は、千早の想像を超える荒野だった。詩暢は世界で一人目の「かるたのプロ」になるために、千早にある相談を持ちかける。それぞれ1勝1敗で、第3試合を戦う太一と新は、かるたへの、そしてお互いへの思いを畳にぶつける!!

【総記】

ギネス世界記録2019 KADOKAWA

今年のギネス世界記録は、ヒーローがいっぱい! 長い地球の歴史のなかで生まれた世界一。最先端テクノロジーが生み出した世界一。人類の英知が、人体の限界が、努力と団結力、あくなき探究心をもたらした世界一。想像を超える約4,000もの世界記録が掲載!



AI vs.教科書が読めない子どもたち 新井紀子著 東洋経済新報社
気鋭の数学者が AI の誤解や限界を示す一方で、大規模な調査の結果わかった日本人の読解力の低下を指摘。AI 化が進んだ未来の行き着く先の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

【歴史・地理】

生きづらい明治社会 松沢裕作著 岩波ジュニア新書

日本が近代化に向けて大きな一歩を踏み出した明治時代は、実はとても厳しい社会でした。社会が大きく変化する中、人々は必死に働き、頑張りました。厳しい競争のなかで結果を出せず敗れた人々…、そんな人々にとって明治とはどんな社会だったのでしょうか? 不安と競争をキーワードに明治社会を読み解きます。



プラタモリ 13・14巻 プラタモリ制作班著 KADOKAWA
NHK の人気街歩き番組「プラタモリ」の、本編では語り切れなかったエピソード、ロケの撮影風景の特別写真、街歩きに便利な地図などを掲載
13 京都(清水寺・祇園) 黒部ダム 立山
14 箱根 箱根関所 鹿児島 弘前 十和田湖・奥入瀬

極夜行 角幡唯介著 文藝春秋

暗闇のなか、氷床を歩き続け3カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか。太陽が昇らない冬の北極を、一頭の犬とともに命懸けで体感した探検家が見つめる冒険ノンフィクション。



【社会科学】



知らない恥をかく世界の大大問題 8・9巻 池上 彰著 KADOKAWA
8 イギリスのEU離脱決定からトランプ大統領誕生まで、「自国ファースト」の流れが世界を包んだ。その本質を解説しつつ、右派勢力が台頭する欧州、中東戦争の危機、暴走する北朝鮮など、世界のいまを池上彰が斬る
9 「トランプ・ファースト」が世界を混乱に陥れている。緊迫化する中東、東アジア情勢。その裏で世界の指導者の独裁化が進む。分断、対立、民主主義の危機…世界のいまは?

総介護社会 小竹雅子著 岩波新書

誰もが年を重ねていくなかで、介護保険は不可欠である。だが度重なる制度改正は、利用者に何をもちたのだろうか。介護保険制度を最新のデータとともに、わかりやすく解説する。ひとり暮らしの増加など家族の変化、介護労働の現状を背景に、全世代をみすえた制度のあり方を考えていく。



友だち幻想 草野 仁著 筑摩書房

身近な人たちとの親しいつながりが大事だと思っていて、そのことに神経がすり減るくらい気を遣っている。なのにうまくいかないのはなぜか。さまざまなキーワードにしたがって問題を整理し、人と人のつながりについて考える。

なるにはbooks ペリかん社

(職業案内シリーズ) その仕事の魅力・現実から、なり方まで幅広く紹介。

- ・救急救命士になるには 益田美樹著
- ・宇宙・天文で働く 本田隆行著



【自然科学】



数学ガールの秘密ノート 結城 浩著 ソフトバンククリエイティブ
「僕」と三人の少女(ミルカさん、テトラちゃん、ユーリ)が、家と学校で、楽しい数学トークを繰り広げます。中学・高校レベルの数学が中心ですが、やさしい数学の中にも思いがけない発見があります。

- ・数列で遊ぼう
- ・数列の広場
- ・微分を追いかけて
- ・ベクトルの真実
- ・場合の数
- ・やさしい統計
- ・積分を見つめて
- ・行列が描くもの

ビーカーくんのゆかいな化学実験 うえたに夫婦著 誠文堂新光社

大人気の実験器具キャラクター図鑑に第二弾が登場! スチールウールの燃焼実験から、ソックスレー抽出器によるゴマ油の抽出実験まで、20種類以上の化学実験を、ビーカーくんたち実験器具キャラクターが解説。漫画や図鑑を通じて彼らの活躍も紹介します。





植物奇跡の科学工場 黒柳正典著 築地書館

地球生命を支える光合成から、成長に関わるホルモンや、外敵・競争相手に対抗するための他感作用物質、繁殖のための色素や甘味物質の生産、私たちが薬品として利用する有毒物質など、植物が生み出す驚きの化学物質と、巧妙な生存戦略を徹底解説。植物を化学の視点で解き明かします。

とんでもない死に方の科学 コーディー・キャン著 河出書房新社

旅客機に乗っていて窓が割れたら？ ハチの大群に襲われたら？ 雷に打たれたら？ クジラに飲み込まれたら？ そのとき人はどう死ぬのか！ 45の「死に方のシナリオ」を科学で読み解く、不謹慎で真面目な思考実験。



美しい小さな雑草の花図鑑 多田多恵子著 山と溪谷社

史上最高に美しい雑草の花図鑑。雑草はこんなにも美しい！ ページいっぱい拡大された数ミリから数センチの小さな雑草の花々を、まるでルーペで観察しているかのように楽しめる！ 雑草が芸術作品に思えるアートな雑草図鑑です。

【技術・家政】

世界遺産にされて富士山は泣いている 野口 健著 PHP 研究所

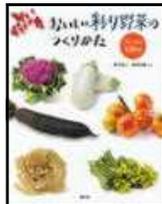
美しい「日本の象徴」でいま起こっていることは、日本社会が抱える問題そのものだ！ 2013年6月富士山は世界文化遺産に登録され、日本中が沸き立った。しかしその清掃登山に尽力し、「富士山が世界遺産になったらいいね」といつづけてきた野口氏は、そこで環境問題を超越する富士山の本当の問題に気づいてしまった。



日本の伝統 発酵の科学 中島春紫著 草思社

味噌、醤油、納豆、清酒、酢、漬物、鰹節。微生物を巧みに使いこなし、豊かな発酵文化を築いた日本。室町時代にはすでに麴を造る「種麴屋」が存在し、職人技として発酵の技術は受け継がれてきた。多様な発酵食品の歴史をたどりながら、現代科学の視点からも理にかなった伝統の技を紹介。

【産業・交通】



おいしい彩り野菜のつくりかた 藤目幸擴著 農山漁村文化協会

珍しい世界の野菜から日本の伝統野菜、定番野菜の最新品種まで、人気の注目野菜を厳選して、赤、橙、黄、緑、紫、黒、白の7色に分類。野菜ごとの魅力、おいしい食べ方、栽培のポイント、栽培ごよみ等を詳しく解説。野菜の発色をよくする栽培法や直売所等で販売するときの効果的な陳列テクニック、野菜の色で季節感を演出するコツ、種苗の入手先、各野菜の原産地情報などの情報も満載。

【芸術・体育】

世の途中から隠されていること 木下直之著 晶文社

日清戦争のとき広島に建てられた凱旋碑は、そのまま平和塔となった。女装姿のヤマトタケルのイメージは、実は明治につくられたもの。記念碑、肖像写真や見世物など、歴史に埋もれた物を掘り起こし、日本人の美意識を辿る。



【語学】



議論のレッスン 新版 福澤一吉著 NHK出版

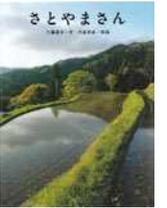
「議論」を知ることは——あなた自身を知ることだ

議論にも、スポーツと同様にルールがある。本書を読めば、国会中継、テレビ討論、ニュース番組を見る目が一変。友人との会話も、会社の会議も、自由自在にコントロールできる。噛み合わない不毛な議論にオサラバを！

【文学】

さとやまさん 工藤直子著 アリス館

里山を「さとやまさん」として擬人化し、人に親しい存在として語りかけます。春夏秋冬の季節の、風景、生き物、風、色形を、工藤直子の楽しい言葉と、今森光彦の美しい写真で紹介。



沈黙のパレード 東野圭吾著 文藝春秋

秋祭りのパレードで起きた殺人事件の容疑者はかつて草薙が担当した少女殺害事件で無罪となった男。だが男は証拠不十分で釈放され、堂々と遺族達の前に現れる。超難問に突き当たった草薙は、アメリカ帰りの湯川に助けを求める。

スマホを落としただけなのに 志駕 晃著 宝島社

麻美の彼氏の富田がタクシーの中でスマホを落としたことが、すべての始まりだった。拾い主の男はスマホを返却するが、男の正体は狡猾なハッカー。麻美を気に入った男は、麻美の人間関係を監視し始める。セキュリティを丸裸にされた富田のスマホが、身近な SNS を介して麻美を陥れる凶器へと変わっていく。一方、神奈川の山中では身元不明の女性の死体が次々と発見され。



ビブリア古書堂の事件手帖 扉子と不思議な客人たち

ある夫婦が営む古書店がある。鎌倉の片隅にひっそりと佇む「ビブリア古書堂」。女店主の傍らには、彼女そっくりな少女の姿があった。女店主は少女へ、静かに語り聞かせる。一冊の古書から紐解かれる不思議な客人たちの話を。

本所おけら長屋11 畠山健二著 PHP 研究所

岡っ引きに憧れた弥太郎が勝手に親分を名乗り、事件を解決しようとして起こした大騒動とは(「といちて」)、波瀾万丈の人生を送ってきたお染は、誰にも言えなかった切ない過去を思い返す(「ぬげがら」)、隠居した親方に昔の女を探してほしいと頼まれた八五郎は、ひょんなことから心を閉ざした子供を預かることに…



淀上今日子の乗車券 西尾維新著 講談社

突然、バカンスではない旅への同行を命じられた親切守。今日子さんはこの旅の目的は「営業」だと告げた。忘却探偵の営業とはいったい—混乱の守と、泰然自若の今日子さんが乗る寝台列車で殺人事件が起きる。無事に終わる気がしない二人の旅はどんな結末を迎えるのか!?